

1989. 9

Weeds

くまもと障害者労働センター通信

労働センターでは毎週土曜日午後1時～4時まで作業日になります。みなさんも労働センターにきて一緒に作業をしてみませんか？おまちしております。

共同連に参加して

さる9月1、2、3日 名古屋で開かれた共同連第6回全国体会にセンターからも4人のメンバーが参加しました。

まず共同連代表から報告があり、どこの作業所の現状も厳しいということがいわれていました。障害者に渡る賃金も少ないもので0～1万円程度だそうで私達のセンターも例に漏れずといったところです。大体どこの作業所も物品販売を中心に動いているそうで連帯意識を強く覚えてしました。

2日目 午後の分科会で、私達はそれまで別行動を取っていたにも関わらず「安全にひそむ優生思想」という分野に席を同じくしました。原発や食品公害の問題が語られるとき奇形や障害児出産の恐ろしさを平然と強調されることに優生思想がひそんでいる等の内容で会が展開されました。障害児出産率が上がるごとよりも健常者ばかり生まれることの方がどれだけ恐ろしいことかという意見が出され妙なおかしさとナルホドという気持ちになりました。パネラーにダウン症の子供の父親という人がいらして「ダウン症の子は原発をつくらない、つくれないだからいい」というような発言をされくづくれない——だからいいというのは差別につながるのではないかと討論になりました。しかし残念なことにこれからが面白くなるというときに時間切れになってしまいました。原発など作れないのがいいと思うし、それが差別だとわれると困ってしまいます。きっとそういう人は「できないことが悪いこと」と思ってらっしゃるのでショウ。他にもいろんな催しがありました。

交流会では地元の作業所の人と個人的な話をすることができ又宿泊の神社では経験を重ねた女性の障害者の人と話ができました。とても心強く思えて嬉しくなってしまった私です。コマゴマとしたはなしもございます。近くへおいでの方はセンターにお立ちよりくださいますようお願いします。

ED-FN EPN 6012

FPN

助成金の問題その辺り

先日のお便りでお知らせしましたように労働センターに対する今年度の小規模作業所の助成金は9月上旬に国と県に対して提出されました。このさい間にに関しては昨年度の実績もあり確實視ができるものと考えておりますが、県の方がどうも難色を示しセンターの矢張を視察したいと申しいれてきました。その後なにも連絡してくることなく現在に至っております。

じつはこの間に県の関係者の方にお伺いを立てたところ助成金は今後のセンターの成長を期待するという方向で検討してみるといつてるようですが・・・。県内にはいま小規模作業所は9ヶ所余り、うち助成をうけているのは3ヶ所に過ぎません。これを作業所1ヶ所当りの人口比でくらべてみると200人を超す値がでできます。よその県にくらべて圧倒的に多い数値です。まだまだ沢山の小規模作業所が必要だと思われます。(その内容は別にして)

今後の動向も逐次ご報告していくつもりですが一層の御支援よろしくお願い致します。

労働センター8月の販売報告

4日	言語認識	郵便貯金会館
5日	交流作業日	
6日	小国同研	小国ドーム
10日	自然認識	豊野村民会館
12日	交流作業日	
18日	鹿本同研	鹿本町民センター
19日	交流作業日	
22日	上益城同研	御船中学校 宇城同研 松橋高校
26日	24時間TV	ライン工房

以上の方々に労働センターの販売活動にご協力いただきました。
有難うございます。

